

# 第23回 アビリンピック福井大会

## ワード・プロセッサ競技

### 課題 1《文字入力》

1. 文字入力課題の制限時間は20分です。
2. Wordの新規文書を開いて下記の仕様に設定しなさい。指示以外は既定値のままとする。  
<仕様>
  - (1). 【レイアウト】タブの【ページ設定】から、A4縦サイズ横書き、1行の文字数は30文字、行数は30行に設定し、余白については、上下左右とも30mmとすること。
  - (2). また同じく【レイアウト】タブの【ページ設定】の【フォントの設定】から、日本語用のフォントはMS明朝、英数字用は（日本語用と同じフォント）、フォントサイズは10.5になっていることを確認すること。（なっていないければ、変更すること。）
3. 1行目に 競技者番号 氏名をそれぞれ全角数字と全角ひらがな文字で入力し、文書の入力を始めなさい。（文中の□は、改行を意味しているだけなので、入力はしない。）
4. 文書は、配布したUSB内のフォルダ「課題1」の中に保存しなさい。保存するファイル名は、東尋坊 競技者番号 氏名 をすべて全角文字で氏名については、ひらがなで保存すること。
5. 制限時間になったら、審査員の指示に従って印刷を行なうこと。
6. 印刷した作品と、文書を保存したUSBを提出すること。

## 01 ふくいたろう

□

東尋坊（T O J I N B O C L I F F S）。坂井市三国町に位置する断崖絶壁で、刑事ドラマの撮影でも有名になった福井県を代表する景勝地です。

此処は、1千万年以上も前に火山活動で噴き出したマグマが、地表近くで急速に冷えることで形作られた柱状節理の集まりです。実際遊歩道を歩いてみると、黒褐色の五角形や六角形にひび割れた岩が、幾重にも重なって存立していることを実感できます。このように火山岩でできた岩の塊が、約1キロに渡って続いている場所は、世界的にみても非常に珍しいようです。

しかしこの東尋坊、断崖絶壁の景勝地としては知れ渡っているものの、東尋坊という名前の由来を知っている人は、案外少ないようです。

東尋坊から南東に位置する勝山市の白山平泉寺は、平安時代には数千人の僧侶が暮らす巨大な宗教都市でありました。その地に東尋坊という名の僧が住んでいて、無類の怪力をいいことに、寺の同僚や近隣の人たちに対していつも乱暴な振舞いをし、彼が一旦暴れだすと、誰も手がつけられない状態でありました。常日頃からあまりに身勝手な悪行を重ねる東尋坊は、地域のみんなから嫌われ、疎んじられていました。

とうとう平泉寺の僧侶たちは堪忍袋が切れ、皆で相談して東尋坊を断崖絶壁に誘い出し、海が一望に見える断崖の上で酒盛りを始めました。酒が進むうち、酔いが回ってきた東尋坊がとうとうと眠り始めたその瞬間、僧侶たちはここぞとばかりに東尋坊を絶壁の上から海へ突き落しました。

この衝撃的な事件を機に、この地を東尋坊と呼ぶようになったということなのです。

# 第 2 3 回アビリンピック福井大会

## ワード・プロセッサ競技

### 課題 2 ≪文書作成≫

1. 制限時間は 30 分です。
2. Word の新規シートを開いて、以下の<仕様>に従い、次ページの課題の文書を作成しなさい。  
<仕様>
  - (1) フォントは指定がある箇所以外は、MS 明朝（英数字用のフォントは、日本語用と同じフォント）、サイズは 10.5 ポイントとすること。
  - (2) 1 行の文字数は 40 文字、行数は課題の最終行を 42 行で設定する。また印刷面の余白は、上下左右それぞれ 20 mm にすること。
  - (3) 1 行目に選手番号 氏名をそれぞれ全角数字と全角ひらがなで入力すること。
  - (4) 課題中の□印は改行を示すもので、入力はしないこと。
  - (5) 課題中の赤の★印や文章、その他記号は指示事項なので、入力しないこと。
  - (6) 印刷は A4 縦 1 枚に収めること。1 枚に収まらない場合は、行数を調整しても構わない。
  - (7) ★印以外の編集等については、配布資料を参考にすること。  
ただし、ワープロソフト（バージョン）の特性により、スタイル等が配布資料と異なった場合は減点の対象としない。
3. 課題が完了したら、USB 内の「課題 2」フォルダに保存しなさい。保存するファイル名は、マラソン大会 選手番号 氏名（全角数字と全角ひらがな） とすること。
4. 制限時間になったら、審査員の指示に従って所定の用紙に印刷を行うこと。
5. 印刷した作品と、文書を保存した USB を提出すること。

1 ふくいたろう

□

令和7年4月10日

(株)日野川OB会会員各位

★右揃え

(株)日野川OB会会長

三国 慎太郎

□ ★文字の輪郭に黒を設定★12ポイント★傍点★センタリング

### 『(株)日野川OB会総会及び懇親会』のご案内

□

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

朝夕の寒暖の差は激しいものの、河川敷の桜もようやく葉桜へと移ろい、新緑の山も勢いづいて、いよいよ春本番となってまいりました。会員の皆様におかれましても体調にお変わりございませんでしょうか。

さて今年もまた、標記『(株)日野川OB会』の開催時期が近づいてまいりました。御多忙のこととは思いますが、下記の通り開催いたしたく、4月末までに同封のハガキにて出席の有無や、近況報告についてお知らせいただけたら幸いです。

敬具  
★右揃え

□

★中央揃え

★表の中央揃えを実施

記

項目	内容	
開催日時	5月24日(土) 11時	
開催場所	料理旅館 梅花 澡 <small>ぼいか</small> 越前市千歳町20-25 (0778)23-4567	
内容	総会 懇親会	会長挨拶、決算及び予算の承認、役員改選等 食事をしながらの近況報告やご歓談等
費用	懇親会出席者から5,000円を当日徴収 ※総会のみ出席の場合は無料(積立金より充当)	

★表の項目欄に薄い色系の塗りつぶし設定  
★表の1行目に均等割付を実施後センタリング  
★表の縦横の罫線2本を破線に変更  
★表内の文字はすべて9ポイント  
★罫い文字を設定

★ページを分割するための切り取り線を破線で設定

★右揃え

以上

(参考)

### 当日の鉄道利用の場合の推奨ダイヤ ★MSゴシック、太字設定

★横の項目欄を薄いゴールド系の色で塗りつぶすこと

★表内の文字はすべて9ポイント

行き(福井⇒武生)				帰り(武生⇒福井)				行き(敦賀⇒武生)				帰り(武生⇒敦賀)			
福井	9:59	武生	14:21	武生	14:21	福井	14:42	敦賀	9:50	武生	14:25	武生	14:25	敦賀	14:57
越前花堂	10:08	鯖江	14:26	鯖江	14:26	越前花堂	14:38	南今庄	10:01	王子保	14:29	王子保	10:17	南今庄	14:45
大土呂	10:12	北鯖江	14:29	北鯖江	14:29	大土呂	14:34	今庄	10:05	南条	14:34	南条	10:12	今庄	14:41
北鯖江	10:16	大土呂	14:34	大土呂	14:34	北鯖江	14:38	湯尾	10:08	湯尾	14:37	南条	10:12	今庄	14:41
鯖江	10:20	越前花堂	14:38	越前花堂	14:38	鯖江	14:42	王子保	10:17	南今庄	14:45	王子保	10:17	南今庄	14:45
武生	10:25	福井	14:42	福井	14:42	武生	14:42	武生	10:21	敦賀	14:57	武生	10:21	敦賀	14:57

武生駅～旅館は、送迎バスが出ます。

★罫い文字を設定

※ご質問等がございましたら、幹事の日野(080-6789-1234)迄連絡をお願いします。

★不要な行があった場合は行数調整を施すこと。

# 第23回アビリンピック福井大会

## ワード・プロセッサ競技

### 課題3 ≪文書の編集・校正≫

1. 制限時間は30分です。
2. USB内の『課題3 課題』を開いて、文書の加工を行います。  
次の<仕様>に従い、文書の編集・校正を行いなさい。

<仕様>

- (1) 以下の編集・校正を行うこと。課題中の赤で書いた数字は下表の編集箇所を示し、文中の□は改行を意味しているので入力しない。(また指示以外の変更は行わないこと)

①ファイルの取り込み ・Wordの新規シートを開いて、「課題3 課題」中のtxtデータを、貼り付けること。	②レイアウト変更1 ・「レイアウト」タブの「ページ設定」の「余白」より、余白は上下左右全て20mmに、「文字数と行数」から、一行の文字数を45文字、行数を45行に変更すること。	③書式の変更 ・「ページ設定」の{フォントの設定}より、この文章のフォントを「MSゴシック」、英数字用のフォントを「日本語用と同じフォント」に変更すること。
④行挿入と氏名入力 ・一行目の上に、新たに2行を挿入し、1行目に選手番号(全角数字)を入力し、間に1文字分のスペースを入れて、選手氏名(全角ひらがな)を入力すること。	⑤タイトルの編集 ・タイトルのフォントを「12ポイント」、文字の輪郭を「濃い緑系」の色に、文字の色を「白」に変更すること。 ・さらに、文字の配置を「中央揃え」にすること。	⑥文字の置換 ・文中に『本田』と表記されている名前を、全て『本多』という名前に置き換えること。
⑦図形の挿入と文字の貼り付け ・『配布資料』を参考に、図形(長方形)を挿入すること。 ・図形を「紫色」系の色で塗りつぶしたあと、資料から該当する文章を貼り付けること。	⑧挿入文章の加工と図形の編集 ・⑦で貼り付けた文字のフォントを、「HGPゴシックE」、「10ポイント」、色をオレンジ色系とすること。 ・長方形の大きさは、概ね縦55mm×横100mmとし、位置を調整すること。	⑨段組みの設定と文字の編集 ・『配布資料』を参考に、該当文章に「段組み」を設定すること。 ・段組した文章中の★印の付いた行に「文字の網掛け」を設定すること。
⑩文字の入力と書式のコピー ・⑨で段組みした文章の上の空の行を利用し、「丸岡城にまつわるトピック」と入力し、⑤でタイトルに設定した書式をコピーすること。	⑪画像の挿入 ・USB内の「添付用データ」にある『丸岡城』の画像を、作成文章に貼り付け、縦横の大きさをそれぞれ概ね50mmとすること。	⑫画像の加工 ・⑪で貼り付けた画像に、図のスタイルから「四角形 右下方向の影付き」を設定し、適当な位置に貼り付けること。
⑬図形(長方形)の挿入 ・『配布資料』を参考に、図形(長方形)を挿入すること。 ・図形の大きさは、概ね横160mm、縦40mmとすること。	⑭図形(長方形)の編集 ・⑬で挿入した図形を黄色系の色で塗りつぶすこと。 ・『配布資料』を参考に、図形に「影」を設定すること。	⑮近郊マップの作成1 ・『配布資料』を参考に、⑭の図形に、道路(線の太さは、6ポイント、4.5ポイント、3ポイントの3種類を使用)を設定すること。
⑯近郊マップの作成2 ・『配布資料』参考に、マップに必要な目印を3つ作成すること。塗りつぶしの色はそれぞれ青、赤、緑系の色とし、文字の色は白、フォントはMSゴシック、9ポイント、太字とする。図形の大きさは文字が見えることを前提に作成すること。	⑰近郊マップの作成3 ・『配布資料』を参考に、「テキストボックス」を使って、補足する文字群を3カ所作成すること。 ・文字のフォントは、MSゴシック、9ポイント、太字とする。 ・右端の文字群は、垂直の位置から25°右に傾いている。	⑱最終行の調整 ・「以上」の位置を右揃えとすること。 ・45行で設定していた行数に余裕が生じた場合は、不必要な行を減らすこと。

- (2) ページのレイアウト等に係る設定については、指示以外に変更しないこと。

3. 課題が完成したら、USBメモリ内の「課題3」フォルダに保存すること。保存するファイル名は、丸岡城 選手番号 選手氏名(全角ひらがな) とすること。
4. 完成した課題を印刷し、USBメモリとともに提出すること。

①、②、③

01 ふくいたろう ④

□

⑤

### 北陸で唯一現存する天守閣をもつ丸岡城

福井県坂井市の小高い丘に建つ丸岡城は、天守閣が重要文化財に指定されています。二重三階の天守閣は「望楼型」と言われる建築様式で、四方の壁には大きな窓が配され、東西南北の景観を見渡すことができます。

□

⑨

### ⑩ 丸岡城にまつわるトピック

#### ★笏谷石（しゃくだにいし）で葺かれた屋根

豪雪地帯に位置するため、普通の瓦では寒さで割れてしまうことがあり、寒さに強い笏谷石が用いられたようです。この石瓦は全部で約6,000枚も使われており、重さは屋根全体で120tにも及びます。笏谷石は、福井県の足羽山のみで採掘される凝灰岩。現在は採掘されていない、大変貴重な岩石です。

#### ★一筆啓上 日本一短い手紙

「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」は、徳川家康の家臣として活躍していた本多重次が、戦の際に妻に送った手紙です。「お仙」というのは重次の息子で、のちに初代丸岡藩主となる本多成重の幼名です。短い文で用件を簡潔かつ分かりやすく伝えており、手紙の手本だと言われています。

#### ★天守閣の階段は急こう配で有名

本丸の高さが約18mある天守閣は、一階から二階に上る階段が65度、二階から三階部分で67度の傾斜となっており、全国でも珍しい急こう配です。

#### ★丸岡城の人柱となった「お静」の伝説

城の造営時、何度石垣を積んでも崩れるため、人柱を立てることになりました。選ばれたのは、貧しい生活を送っていた片目の見えない「お静」という女性。お静は、自分の子どもを武士に取り立ててもらふ事を約束に、人柱になることを引き受けます。その甲斐あって城は無事完成しましたが、約束は守られず、息子は武士に取り立ててもらえませんでした。それからは、堀があふれんばかりの春雨が毎年降り続けたので、人々は「お静の涙雨」と呼びました。

⑪、⑫



#### 【丸岡城の歴史】

⑦

1575年 織田信長が越前国を家臣の柴田勝家に治めさせる。

⑧

1576年 柴田勝家の甥の柴田勝豊によって築城される。

1612年 江戸時代に福井藩の付家老、本多成重が入城。

1624年 丸岡藩が福井藩から独立。本多家が四代治める。

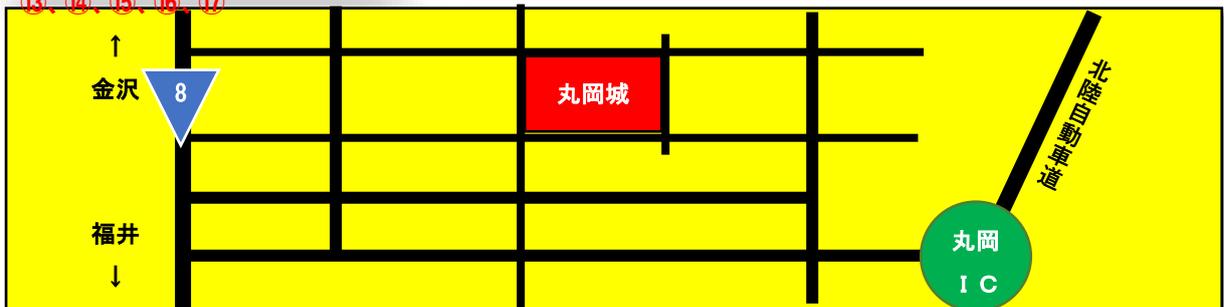
1695年 有馬清純が丸岡藩の藩主となり、以後八代続く。

1869年 明治時代になり、天守閣は民間に払い下げられる。

1948年 福井地震で天守閣倒壊。

1955年 倒壊前の姿に復元される。

⑬、⑭、⑮、⑯、⑰



⑱ 以上